

THE WEEKLY NEWS

国際ロータリー会長
国際ロータリー
第2790地区ガバナー
第5分区ガバナー補佐

カルヤン・パネルジー

山田修平

釜田英之

鴨川ロータリークラブ

会長

佐藤信也

副会長

武田将次郎

幹事

羽鳥鋭一

クラブ広報委員長

脇坂保雄



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

今週のプログラム
地区セミナー報告

次週のプログラム
夜間例会

例会日 (火) 12:30~13:30 事務所 〒296-0001 鴨川市横渚 1524-6 TEL 04-7093-2001
例会場 鴨川シーワールドホテル URL <http://www.kamogawa-rc.com>

例会報告

2011年8月9日

12:30

1. 点鐘 会長 佐藤信也
2. ロータリーソング 「我らのなりわい」
3. 会長挨拶 会長 佐藤信也
4. 幹事報告 幹事 羽鳥鋭一
5. 各委員会報告
クラブ管理運営 (親睦)
会員配偶者誕生日祝い
6. クラブ研修セミナー
研修リーダー 伊藤正人
7. ニコニコタイム
8. 出席報告
9. 点鐘

13:30

会長挨拶

会長 佐藤信也

皆さんこんにちは。

心配された台風も、大きくそれて、猛暑が戻ってきましたが、大気の状態が不安定の事から、関東一円では局地的な雷と大雨に見舞われております。

そんな中でも鴨川は、集中豪雨やゲリラ豪雨に見舞われる事無く、安定した天候が続いております。

毎年感じている事ですが、鴨川は雷雨が殆どありません。

雷は子供の頃、家の近くに落雷があり、びっくりして泣いた記憶があり、それから嫌いです。

以前、差していた傘に落雷があり、傘を持っていた指先から、いなづまが抜けて行った事もありました。ゴム底の運動靴を履いていた事が、良かったのではないかと考えています。

さて、8/5に鴨川青年の家に視察に行ってきました。

詳しくは後程、奉仕プロジェクト委員会より報告がありますので、かいつまんで感想を述べさせていただきます。義捐金による支援策提出を受けて、第2790地区の新

世代奉仕委員長で、東日本大震災被災者支援委員会委員でもある、津留起夫さんが現場視察の命を受けて来られる事になった為、羽鳥幹事、鈴木会員と同行しました。

先日例会にご出席頂いた、三瓶氏と伊賀氏と、あらためてお話を伺いました。

建物の設備は、これだけの大多数の人に対しての造りではなく、トイレの数が少なく、又、洗濯にご苦労されているとの事でした。

福島の施設では、大型洗濯機と乾燥機を完備していましたが、現在は家庭用の洗濯機が数台あるだけで、ほとんど一日中廻しっぱなしとの事。又、乾燥機も間に合わない為、市内のコインランドリーの毎日通っているとの事でした。

それでは洗濯機と乾燥機を数多く揃えれば良いというものではなく、電気容量が不足又、排水設備の容量が小さい為、溢れてしまうそうです。

その後、実際に避難生活を送られている現場を視察しました。

感想は一言で、大変だな、と思いました。

理解しているつもりでも、実際に身障者の方々を拝見し、そこに入って世話をされている職員やボランティアの方々の姿をみると、ご苦労が、察して余りあるものがありました。

あらためてショックを受けました。その日は何故か一日、気分が沈んでいました。

冷房は完備しているものの、人工密度が高い為、又、窓から直射日光も降り注いでいる為、ほとんど涼しい感じがしませんでした。

ただでさえ、大変な仕事なのに、職員の多くが自宅が流されたり倒壊していたりして、又、家族とも別れ別れとなって生活している為、精神的な重圧は相当なも

のと思います。

帰り際に羽鳥幹事とも話しましたが、入所者もさることながら、職員の方々に対して何かしてあげたいなど感じました。

何とか、義捐金も降りそうなので、少しでもお役に立てる様、有意義な支援を行いたいと思います。

つたない話となりましたが、会長挨拶とさせて頂きます。

各委員会報告

●クラブ管理運営（親睦）

会員配偶者誕生日祝い

小篠隆会員夫人 直美様



●社会奉仕委員会 副委員長 佐藤みさ子

「鴨川青年の家」に避難している福島の方たちにガバナー会主催の「地区東日本大震災被災者支援委員会」から 345 万円の支援をいただきました。先ほど会長挨拶の中で、会長よりお話がありましたので、私はその経緯とこれからのことを話します。

7月5日の第1回記念例会で、釜田ガバナー補佐

の挨拶の中で「支援」の話があり、鈴木敦会員と相談、その後は会長・幹事の4人で福島の障害施設関係者と面談をし、また委員会委員の津留起夫様の視察・面談を行い、8月9日の今日、345万円の振込通知をいただきました。

たったひと月の短い期間で決定をしてくださった地区委員の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

これから、会長、幹事、鈴木委員長と福島の施設関係者とで、345万円の用途を大事に決めてまいります。

この支援は、これで終わりではなく、むしろ始まりだと思います。

会員皆様、よろしくお願ひします。

クラブ研修セミナー

研修リーダー 伊藤 正人

1. ロータリークラブの構成、歴史

設立1905年 ポール・ハリスら4人

親睦と互恵が目的

1906年 地域社会への貢献：奉仕事業第1号として シカゴ市に公衆便所を設置

1917年 ロータリー財団の前身である基金創立（アーチ・クラフ）

※1917年 ライオンズクラブ誕生

1922年 22-17号決議

⇒社会奉仕に関する大激論

「R I 第13回年次大会は、各ロータリークラブが行っているかかる人道的活動を賞揚し、且つ本大会に出席している各代表者に対し、この問題に関する注意を喚起し、またこの運動が各クラブの地域社会における奉仕の機会を提供するものであることを、それぞれのクラブに認識させるようここに決議する。」

1923年 「決議23-34」により国際ロータリーの分裂回避

社会奉仕に関する1923年の声明

（次回に紹介）

国際ロータリー（R I）：200以上の国と地域の34,049のクラブの連合組織

R Iの目的

- 1) 全世界にわたって、ロータリーを奨励し、助長し、拡大し、そして管理すること。
- 2) R Iの活動を調整し、全般的にこれを指導すること。

日本のロータリー

1920年 東京ロータリークラブ創立

（世界で855番目）-米山梅吉翁

1940年 国際ロータリーより脱退

1949年 国際ロータリー復帰加盟

	ゾーン数	地区数	クラブ数	会員数(人)
世界			34,049	1,217,668
日本	3	34	2,3021	90,269人
千葉県	-	1	84	2,803人

2. 標語、綱領（目的）など

1) 標語

第1標語 超私の奉仕：Service Above Self

第2 最も奉仕する者、最も多く報いら

れる： One Profits Most Who Serves Best

奉仕の理想 (ideal of service)

“I Serve” と “We Serve”

(ロータリーとライオンズ)

2) 綱領 (Object) : “目的”の方が理解しやすい
和訳改訂の動き (ロータリーの友2011年2月号参照)

主文と第1～第4の項目の関係

3) 定款・細則

3年に一度の規定審議会により標準定款、推奨細則を改訂、各クラブに提示。

各クラブは、特別な事情がない限り標準定款をそのまま受容しなければならない。

クラブ細則に関しては、標準定款に背反しない限り随時改訂可能 (ガバナー事務所に報告すればよい)。

4) 4つのテスト

1932年 ハーバート J. テーラーにより創作
事業及び専門職務に携わるロータリアンが、職業生活において遵奉すべきモットー
倒産しかけていた会社の再起のために抜擢されたテーラー氏が、再建のため社員に徹底させ、成功した。

◎ニコニコボックス

氏名	メッセージ
佐藤みさ子	鴨川青年の家の大震災被災者支援決定
小篠 隆	夫人誕生日祝い
羽鳥鋭一	セミナーリーダーへの感謝
土田育子	新宿文化ホールでのバレー発表会
脇阪保雄	吉田氏より山口志道直筆短冊を市へ寄贈

◎出席報告 出席免除会員2名

例会日	会員総数	出席	欠席	M. U	出席率
8月9日	29				60.7%
8月2日	29	18		2	確定 71%